
第5編 地区別将来展望

第 1 章 地区別将来展望について

■地区別将来展望策定の目的

本市は、平成17年4月1日に1市6町が合併し、行政を身近なものとして市民生活の充実を図るため、本庁及び6つの総合支所（7つの地区）の体制でスタートしました。

本市は広大な市域を有し、北上川流域に広がった市街地、田園、リアス式海岸の沿岸部などの地勢的にも、また、産業や伝統芸能なども地域の風土に根ざした多種多様で魅力的な特性を有していることから、今後もその特性を活かしながら、個性を持ったまとまりのある地区として発展し、また、それぞれが一体的に結びつくことによって、より大きな魅力として創造していくことが望まれています。

そこで、各地区の現状を把握し、市全体の調和に配慮しつつも特に、それぞれ固有の課題を解決しながら、誰もが誇りの持てる望ましい方向を示し、将来の目指す地区の姿について明らかにすることを目的とします。



(1) 石巻地区

□ 現況

石巻地区は、本市の南部に位置し、地区の中心部には旧北上川が流れ、太平洋へと注いでおり、万石浦や日和山など四季折々に多彩な表情を見せる豊かな自然景観を有するとともに、本市の政治、経済などの中心的な役割を担うとともに、鉄道やバス、離島航路のほか、三陸縦貫自動車道、一般国道 45 号など交通の要衝としての機能を担っています。

地区の中心部には石巻駅前には日和山より移転した市役所本庁舎のほか、災害時の防災拠点となる「石巻市防災センター」、地域包括ケア推進の中核的な拠点となる「石巻市ささえあいセンター（ほっとお〜る）」、東日本大震災により被災し南浜町より移転した「石巻市立病院」など行政、防災、福祉、医療が連携した一体的な公共機能を有しています。

その一方で、近年では地区西側の市街地化が進み、三陸縦貫自動車道の石巻河南インターチェンジ周辺では、郊外型大型商業施設の開業、石巻赤十字病院の移転、東日本大震災後には被災者などの移転先として区画整理事業などの実施、そのほか、国、県の地方機関の移転など新市街地としての整備が進んでいます。

産業では、石巻漁港を中心とした漁業や水産加工業、石巻港を中心としたパルプ・紙製造や木材・木製品製造、鉄鋼業などが中心となっており、いずれも東日本大震災により大きな被害を受けましたが、石巻漁港は全長 876m の閉鎖式水揚棟を有する高度衛生管理型施設として「石巻魚市場」が再建され、石巻港は東北唯一の国際拠点港湾「仙台塩釜港石巻港区」として整備が進められるなど本市の産業の拠点としての役割を担っています。

開成地区の石巻トゥモロービジネスタウンでは、地域資源を活かした産業の創造と構築を目指し、積極的に企業誘致を行っているほか、東日本大震災により区画整理を行った、上釜南部地区、下釜南部地区、湊西地区でも積極的に企業誘致を行っています。

観光では、「マンガのまち」として石ノ森章太郎の漫画の世界を体験できる「石ノ森萬画館」があるほか、歴史・文化を体験できる施設として「慶長遣欧使節」の歴史的偉業を学ぶことが出来る「慶長使節船ミュージアム（サン・ファン館）」などがあります。

教育文化では、南境地区に石巻圏域唯一の高等教育機関として、「石巻専修大学」があるほか、同地区に東日本大震災により被災した石巻文化センターと石巻市民会館の代替施設である「石巻複合文化施設（まきあーとテラス）」が整備され、市民の文化芸術活動の拠点となっています。

東日本大震災により災害危険区域に指定された南浜・門脇地区には、東日本大震災による犠牲者への追悼と鎮魂、復興に対する意思の発信を目的とした復興祈念公園である「石巻南浜津波復興祈念公園」が整備されたほか、東日本大震災の記憶と教訓を後世へ伝承するため「震災遺構 門脇小学校」を整備しています。

主要課題

半島沿岸部では全国的に加速する少子高齢化や東日本大震災により市外への転出、市街地部への転居などにより、地域コミュニティの維持そのものが困難になりつつある地区もあります。

東日本大震災以前より中心市街地の空洞化が進行し、空き店舗の有効活用などの対策が必要とされています。

一部地区で、地盤沈下による大雨時の排水対策が必要となっていることから、災害対応体制を構築する必要があります。

基幹産業である水産業について漁獲高の減少及び担い手不足が深刻化しているほか、石巻漁港について、海外まき網漁船の大型が進んでおり、水深の関係から入港が困難となっています。また、超低温冷蔵庫について、老朽化などの問題により、今後の施設の在り方について、関係団体と協議が必要となっています。

将来展望

本市の行政機能の中核として、医療、福祉、防災、教育機能を有した安全安心な都市機能を有し、市街地部、半島沿岸部、離島など各地域において活気ある地域コミュニティが形成され、石巻漁港を中心とした漁業、石巻港を中心とした工業、田園地帯を活用した農業、中心市街地、新市街地を中心とした商業などの多彩な産業を活かした経済活動が行われるとともに、自然、食彩、歴史、文化など豊かな地域資源を活かした観光事業による賑わいと活気ある生活が営まれています。

施策展開の方向

- 豊かな地域資源を活かした交流人口の拡大、移住・定住の促進を図り地域コミュニティの存続に努めます。
- 空き店舗の有効活用などによる中心市街地の活性化を図ります。
- 地域包括ケアを推進し、安心して暮らせる地域づくりを進めます。
- 雨水排水施設を早急に整備し、冠水対策を推進することにより安全なまちづくりを推進します。
- 漁獲高の向上、担い手の確保を図り、基幹産業である水産業の活性化を図るとともに、関連施設について整備を推進する必要があります。
- 企業誘致を推進し、地元雇用の創出及び地域経済の活性化を図ります。
- 豊かな地域資源を活用した観光事業を推進し、交流人口の増加による地域の活性化を推進します。